

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	益田県土整備事務所 津和野土木事業所	氏名	島田 雅史
派遣先 団体名	邑智郡田舎体験交流協議会		
① 研修の日時 第1回：平成23年8月10日（水） 第2回：平成23年9月2日（金）～5日（月） 第3回：平成23年9月12日（月）午後～18日（日）			
② 研修の内容 第1回 ○田舎体験事業の説明@邑南町役場 ○受け入れ民泊・民宿訪問 第2回 ○“島根の伝統体験とふるさと交流2011in邑南町（9/2～5）”の支援 ・活動風景の撮影やスライドショー・リーフレット作成（作成したスライドショー等は別添のとおり） ・各会場の準備、運営、片付け補助 ・民泊受け入れ先の手伝い ・農家民宿・民泊体験（民宿日高、道野屋） 第3回 ○“広島市立伴南小学校の「野外活動・田舎体験活動」（9/15～18）”の支援 ・児童受け入れの準備（看板、POP、タイムスケジュール等の作成）@邑南町役場 ・活動風景の撮影やスライドショー作成（作成したスライドショーは別添のとおり） ・各会場の準備、運営、片付け補助 ・農家民宿・民泊体験（山里の家、土居ランド）			
③ 研修の感想 短期間ではあったが、地域振興の現場、しかも行政と住民のどちらもが参加する場で活動ができ、両者の考え方に触れることができたことは貴重な体験であった。当然、考え方にギャップのある面もあったが、互いに意見や知恵を出し合って参加者に少しでも満足して帰ってもらいたいという気持ちは参加者にも伝わっており、そうした気持ちが今後の改善・発展につながると信じている。 また、こうした受け入れは都会と地方の交流の場でもあり、年々細くなっていく都会と地方のパイプをつなぐ大切な役割を果たしていると感じられた（実際に各民泊では常連となっている都市部在住の方もおり、今回の参加者からもまた訪れたいとの声が上がっていた）。受け入れ先の高齢化や事務局の人員不足が課題として感じられたが、行政と住民が一体となってこの大切な都市部とのパイプを守っていくべきであり、県も根気強くサポートを続けていく必要があると思った。			
④ その他特記事項 田舎体験参加者でもなく、事務局の職員でもなく、立場があいまいな面があり立ち振る舞いに悩む場面があったため、事前にどこまでやるかの線引きを明確に話し合っておくことが必要と感じた。			